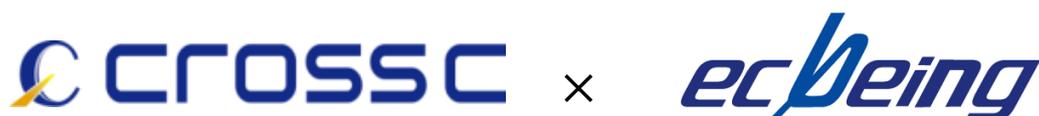


報道関係者各位

2021年11月15日
株式会社クロスシー

**クロスシー、ecbeing と業務提携により中国越境ソーシャル EC ソリューションを強化
～日本国内 EC と連動したサポート体制にて
WeChat/Douyin/RED 等ソーシャル EC を効率的に展開～**

日中間のクロスボーダービジネスを行う株式会社クロスシー（東京都千代田区、代表取締役：田中祐介、以下クロスシー）は、日本国内 EC サイト構築最大手の株式会社 ecbeing（東京都渋谷区、代表取締役社長：林雅也、以下 ecbeing）と業務提携を開始し、日本企業の中国市場向け越境 EC 支援を強化することを発表します。



■本件のポイント

- ・中国 EC 市場は、多くのアクティブユーザーを抱える WeChat や Douyin 等ソーシャルメディアにてコンテンツマーケティングから販売まで完結する「ソーシャル EC」が大きな潮流となっており、大手 EC モールの寡占から変化が始まっている。
- ・クロスシーはソーシャル活用をベースとした中国市場向けブランドインキュベーション、マーケティング支援を強化し、主要ソーシャルメディア（WeChat/Douyin/RED 等）での越境 EC を効率的に展開できるフルフィルメントサービスを提供。
- ・化粧品・日用品・食品・アパレル等 1,400 サイトを超える日本国内最大の EC サイト構築実績を持つ ecbeing との業務提携により、日本国内 EC の戦略やオペレーションと連動して中国ソーシャルメディア内 EC 店舗を活用した越境 EC サポート体制を実現。独自のインフルエンサー資源やライブコマース運営体制により宣伝から販売・フルフィルメントまでワンストップにてサポート可能に。

■ 中国の EC 市場とソーシャル EC

中国の EC 流通規模は約 200 兆円、EC 化率 30%と日本国内の EC 流通規模と比較して約 16 倍（2019 年）、EC 化率も約 4 倍となります。

■ 200兆円超のEC流通高規模

(※eMarketerによると2020年2.3兆USD、EC化率30%)

■ 42%と高い越境EC利用率

■ 国別EC（越境）利用動向

■ 世界の国別EC市場規模



図表 7-8：国（地域）別の越境 EC の利用率

	① 国内 EC のみ利用	② 国内・越境 EC 両方利用	③ 越境 EC のみ利用	② + ③
香港	25%	62%	13%	75%
メキシコ	34%	56%	10%	66%
カナダ	37%	56%	8%	64%
スペイン	40%	54%	7%	61%
オーストラリア	39%	53%	8%	61%
UAE	39%	49%	12%	61%
ブラジル	52%	40%	8%	48%
アルゼンチン	57%	35%	8%	43%
中国	57%	35%	7%	42%
フランス	60%	36%	4%	40%
英国	62%	34%	4%	38%
インド	66%	27%	7%	34%
米国	66%	27%	7%	34%
ドイツ	68%	27%	5%	32%
日本	94%	5%	1%	6%

(出所) Paypal and Ipsos, "PayPal Cross Border Consumer Research 2018," July 23,

2018 をもとに作成

出典：経済産業省 内外一体の経済成長戦略構築に関わる国際経済調査事業

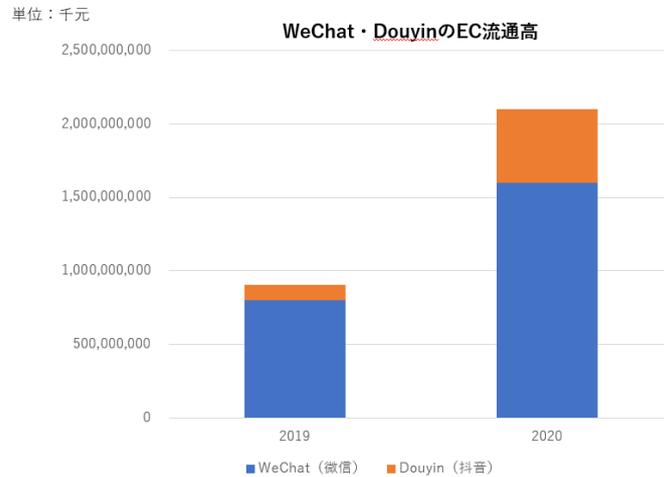
https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/statistics/outlook/200722_new_hokokusho.pdf

出典：経済産業省 令和元年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（電子商取引に関する市場調査）

また、中国の EC では国内の EC 利用のみならず、海外からの越境利用率が 42%ととても高い状況になっております。

その中でも近年、中国では SNS 上で EC を行うソーシャルコマースが急成長しており、月間アクティブユーザー数トップの WeChat（ウィーチャット/微信）だけでも日本国内の EC 流通総額を超える約 26 兆円の流通高へと急成長をとげており、2019 年より EC をスタートし高い注目を集めるショート動画・ライブアプリの「Douyin（ドウイン/抖音）」と合わせるとこの 2つのアプリだけでも約 34 兆円もの規模となり、中国 EC 市場に大きな変化をもたらしています。

**中国ソーシャルECの流通高(GMV)は、前年比200%以上の成長率。
WeChatとDouyinだけでも30兆円を超える。**



■なぜソーシャル越境ECなのか

数多い競合ブランドとの体力勝負になりやすい中国の大手モールへの越境支援ではなく、今回クロスシーと ecbeing はこの急成長するソーシャル越境 EC への業務提携をおこないました。

ソーシャル越境支援では初期投資を抑えた形での対応が可能となります。

- 10億人を超えるユーザー数を誇る WeChat 上のミニプログラムで越境 EC サービスを簡単に実現（店舗構築を SaaS で提供）
- 6億人のユーザーが使う Douyin（ドウイン/抖音）、3億人のユーザーが使う RED（小紅書）での越境 EC にも対応
- 店舗構築や消費者対応などのフルフィルメント対応
- 中国語や商習慣理解も不要、商品情報の提供と商品の出荷のみで越境 EC が可能

■クロスシー x ecbeing が提供するサービス

ecbeing をご利用している EC 事業者様の中国向け販売戦略や課題に応じた中国ソーシャル越境 EC への出店から実際の運用そして商品のプロモーションまでをトータルでサポートすることが可能となります。

ecbeing とクロスシーのシステムを連携し日本国内 EC と越境 EC の情報一元管理を図ることに加え、クロスシーにてリレーションを構築している在日中国人 300 名以上のインフルエンサー、在日クリエイターを活用した日本国内から中国の SNS へのスピーディーなコンテンツ制作・情報発信、クチコミ起爆など、ソーシャル EC ならではのプロモーションを実現します。

トライアルとしての運用からソーシャル EC で販売成果や市場ポテンシャルを判断し、本格的な販路拡大や中国大手モールへの展開を実現していくことが可能となります。

「RED/小紅書」でのインフルエンサーによるライブコマース



「WeChat」ミニプログラムでの EC 店舗構築・販売



■最後に

クロスシーと ecbeing は今後、本業務提携を皮切りに、進化し続ける中国 EC 市場に対するサービスやソリューションのブラッシュアップを図るため、中国へ進出をする EC 事業者様

と共に研究開発も同時に実施してまいります。

また、12月10日（金）14:00-15:20 に、ecbeing と共催にて中国越境ソーシャル EC の特別ウェビナーを開催いたします。

ecbeing 代表取締役社長・林雅也氏とクロスシー代表取締役・田中祐介に加え、「RED/小紅書」の在日トップインフルエンサーでもあるクロスシー雷国悦によるパネルディスカッションを予定しております。

以下の URL よりお申込みください。

https://www.ecbeing.net/b2c/web_seminar211210.html

■株式会社 ecbeing について

名称：株式会社 ecbeing

設立：2012年10月

本社：東京都渋谷区渋谷 2-15-1 渋谷クロスタワー

代表者：代表取締役社長 林 雅也

資本金：2億円 *2019年4月末現在

株主構成：株式会社ソフトクリエイティブホールディングス（東証一部・証券コード：3371）
*100%出資

社員数：249名 *2019年4月末現在

事業内容：電子商取引を目的とした Web サイト構築などの EC ビジネスに関する総合的なサービスの提供

詳しくは <https://www.ecbeing.net/> をご参照ください。

■株式会社クロスシーについて

名称：株式会社クロスシー

設立：2010年4月

本社：東京都千代田区神田小川町 2-1 KIMURA BUILDING 3階

代表者：代表取締役 田中 祐介

事業内容：中華圏をはじめとする海外市場向けマーケティング事業・越境 EC 支援事業

詳しくは <https://x-c.co.jp/> をご参照ください。

■本件に関するお問い合わせ先

連絡先 : 03-5846-8931 info@x-c.co.jp

担当 : 梶原俊一